

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	こどもくらぶジムナー					公表日 7年4月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
職業・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			適切なスペースが活動に合わせて、室内外での活動を行っています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			適切に配置の申で業務分担ができて業務効率に繋がっています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		視覚情報を(SSI)取り入れて支援に繋げています。	日頃から、階段の昇降の際は安全面で手すりを確実に出来るよう声かけを行っておりまます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			安全衛生を重視、環境整備に留意しています。また、活動に合わせて室内での活動を工夫しております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			必要に応じて、個別の部屋を使用できる環境を整えております。	
業務改善	6 業務改進を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			業務開始前、挨拶時にミーティングを行っています。定期的に職員会議を開いています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改進につなげているか。	7			保護者向け評価表により、保護者等の等の意向を把握する機会を設け、その内容を業務改進に反映しております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改進につなげているか。	7			定期的に職員会議を開いています。また、その内容業務改進につなげています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改進につなげているか。	7			第三者による外部評価を行い、評価を業務改進につなげています。	
	10 職員の賛同の向上を図るために、研修を実施する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			定期的に研修の機会を設けています。また、法人内での研修を開催する機会があります。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			適切に配慮の中で業務分担ができて業務改進に繋がっています。支援プログラムを作成し公表しております。	
	12 個々のこどもに対してセスマントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			業務開始前、終了時にミーティングを行っています。定期的に支援会議を設けています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共同理解の下で、こどもの成長の利益を考慮した検討が行われているか。	7			日頃より、保護者様及び関係機関などから情報を収集し計画を作成しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿って支援を行っております。	
	15 こどもの行動発達の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			研修での講師より助言や、専門誌など情報を収集し計画を作成しています。	
関係機関や保護者との連携	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」と「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も記載されながら、こどもの支援に必要な情報を適切に規定され、その上で、具体的な子育て内容が記載されているか。	7			身辺自立を中心とした、個々のペースに合わせて丁寧に療育に取り組んでいます。(地域支店)近隣の店舗や、公園活動など積極的に取り組んでいます。保護者様からの信頼など、電通や事業者との連携を行っております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			チームでプログラムの立案を行っております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			専門機関によるプログラムや、固定されないように職員が交代制で活動プログラムを立てています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			小集団活動を中心とした、個別での課題に丁寧に取り組んでいます。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、実施内容の役割分担をおこなっています。	
保護者への説明等	21 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			支援終了後には、必ず職員間でその日行った支援中の振り返りを行い気づきや改善などを共有を行っています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の横延・改面につなげているか。	7			日々の支援に関して記録を徹底し記録の内容も次の支援に繋げられるよう心がけられています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			定期的なモニタリングを行い、支援計画の見直しを行いモールスティックで課題に取り組んでいます。	
	24 塗書きや絵画支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			職員の意見をまとめて、相談支援事業所のサービス担当者会議に参画しています。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		保護者やこども園への移行を見越して交流する機会があります。	今後地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、機会があれば連携していくたいと思います。	
保護者への説明等	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、施設や保健所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との連携で、家庭内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			併行に向けた支援、インクルージョン推進の観点から、保健所やこども園、特別支援学校との情報共有を行っております。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との連携で、支援内容等の情報共有と相互理解を行っているか。	7			就学時の意向の際には、小学校や特別支援学校との連携で支援内容などの情報共有を行っております。	
	(28~30は、センターのみ回答)					
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児支援事業所等と連携を図り、地域全体の面の向上に貢献する取組等を行っているか。					
	29 職の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員は外部研修に参加させているか。					
事業所の運営	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	(31は、事業所のみ回答)					
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		利害関係の了解を得て、療育センターの訓練の様子など見学を通して、連携を図り助言を受ける体制を整えていく。	今後機会があれば、地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーイズの助言など受ける機会を設けていただきたい。	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7			保健園やこども園との交流の機会を図っております。	
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			日頃から、利用者の状況の変化に応じて、連絡やメール等でお伝えしています。受託料をモニタリングして課題のナリをせなから連絡を行っております。	
事業所の運営	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家庭支援プログラム(パンフレット・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			対応の向上を図る観点から保護者様に対して成績評価や、実験評価等の機会により助言などを行っています。	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			サービスを利用する前に丁寧に説明をさせてもらおうとの意図で、利用規約等を設けています。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの個別の特性の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家庭の権利を尊重する機会を設けているか。	7			保護者様からのお客様の意見を元に各段階で意見を反映させて、支援計画を作成してご家庭の意向を確認する機会を設けています。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から意見を聞き、児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			保護者様からのお客様の意見を元に各段階で意見を反映させて、支援計画を作成してご家庭の意向を確認する機会を設けています。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面接や必要な助言と支援を行っているか。	7			定期的なモニタリングや、保護者様からの悩み事等、電話や書面等にてお問い合わせをしており、対応をさせていただきます。	
保護者への説明等	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けるのが必要な支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			昨年は、親子レクを開始しました。今回はゆんべい会を予定しております。また、保護者会の活動や、保護者会の運営等についてもお問い合わせ下さい。	
	40 こどもを保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			連絡の相手や、グループ会等で行っている場合は電話や、面接にてお話しを聞く機会について助言をさせていただきます。	
	41 実期間に連絡を実行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			ホームページやSNSを発信しています。また、利用者登録を通して活動や行事予定の情報を発信しています。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			全員個人情報の取扱いに周知しています。	
	43 障害のあることや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		活動のルールを文字や絵を提示し視覚支援を行っております。	その子の特性を理解して接するよう努めています。	
事業所の運営	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	7			今後、機会があれば事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行ってみたいとも思います。	
	45 事故防止マニュアル、感染症対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、先生を想定した訓練を実施しているか。	7			マニュアルを職員間で周知しております。先生を想定した訓練を実施しております。	
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難等の訓練を行っているか。	7			火災訓練などに取り組んでいます。今後も継続して実施してまいります。	
	47 事前に、施設や予防接種、てんかん发作等のこどもの状況を確認しているか。	7			定期的に確認できる場所に掲示しています。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の診断書に基づく対応がされているか。	7			定期的に確認できる場所に掲示しています。	
非常時等の対応	49 安全対策を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等。安全管理が十分された上で支援が行われているか。	7			定期的な訓練を実施しており、今後も継続してまいります。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組について、家族等に周知しているか。	7			こどもの安全を確保に関して、定期的な訓練を実施しております。予定表やライン等で周知しております。	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について職員間で共有している。	
	52 徳得を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			徳得を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしています。	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束について、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明して了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			やむを得ず身体拘束について、組織的に決定し、保護者に事前に十分に説明して了解を得た上で児童発達支援計画に記載していく。	